**第2回河原地域振興会議**

日　時　平成30年5月24日（木）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後3時30分～午後4時55分

場　所　河原町総合支所　第6会議室

**〔出席委員〕**

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、山縣恒明委員、楮原典子委員、倉信　敬委員、中村佳紀委員、坂本悦子委員、河毛　寛委員、西尾　純委員、奥谷仁美委員、荻原元春委員　　以上１１名

**〔欠席委員〕**

坂本綾子委員

**〔出席議員〕**

山田延孝市議会議員

**〔鳥取県東部広域行政管理組合事務局〕**

田中事務局長、高田施設建設課長、前田課長補佐、津茂谷主幹、東田調整官

**〔事務局〕**

遠藤支所長、九鬼副支所長、西山市民福祉課長、前田産業建設課長、平尾地域振興課課長補佐

**〔傍聴者〕**

なし

**会議次第**

１　開　会

２　あいさつ

３　協議・報告事項

1. 新可燃物処理施設整備事業の状況について　【資料１・２】
2. 平成３０年度（５月１日付）総合支所の体制について　【資料３】
3. 平成３０年度重点・強化施策及び懸案事項について　【資料４】
4. その他

・地域づくり懇談会について　【資料５】

・視察について　【資料６】

４　その他

５　閉　会

**議事概要**

1. **新可燃物処理施設整備事業の状況について**

（東部広域行政管理組合施設建設課　資料１、資料2により説明）

（委　員） 運営業務が20年の契約になっているが、地元との調整でそうなっているのか。

（東部広域） 地元には可燃物処理施設の稼働期間としては30年間ということで約束しています。このたびの運営期間は20年間となっていますが、一般的に他自治体では20年間が契約期間ときいています。また、20年を過ぎると新たな改修工事等が必要になってくるため20年間で運営管理業務を一区切りとし、新たな契約段階で検討していく事になります。

（委　員） 排水利用している施設もあるが、排水処理等はどうなっているか。

（東部広域） 工場内から出る排水は循環させます。トイレは下水、敷地に降った雨水は調整池に入ります。建物内の中の排水は出ないです。

（委　員） 温水プール等に利用する方法ではないと言うことか。

（東部広域） はい、違います。

（委　員） アンモニアガスを入れると書いてあるが何故か。

　（東部広域） 化学反応を起こしてダイオキシンなどを発生させないようにするための仕組みとなっています。

（委　員） 熱効率を上げるためにどんなことをするのか。また白煙防止をするのか。

　（東部広域） 高温高圧ボイラー、圧力波クリーニング装置の採用等最新の高効率発電技術を組み合わせた提案となっています。白煙防止をつける計画はありません。

（委　員） 災害時の対策がこの中にはないが、避難所とか備蓄などどうなっているのか。

　（東部広域） 災害時の避難場所として利用できます。また近隣の100世帯300人の食糧等を備蓄利用できる計画で、さまざまな災害に対応する提案となっています。

（委　員） ごみの分別、ごみ袋の金額はどうなるのか。

（東部広域） 基本的にごみの分別は変わりません。ゴミ袋の値段はそれぞれの市町で決定することになります。

1. **平成30年度（5月１日付）総合支所の体制について**

（九鬼副支所長　資料3により説明）

1. **平成30年度重点・強化施策及び懸案事項**

（九鬼副支所長　資料4により説明）

（委　員） 今後大きな災害が発生すると思われる。突発的な雨は仕方ないが、何らかの対策をしてもらいたい。

（事務局） 月曜日に渡一木の皆さんに説明会をしました。国交省が定める水門の操作要領に基づき適正な操作管理をしたことや今後の対策も説明したが、同じ事が起きるのではないかとの心配がありました。

（委　員） 水位を見るためにコンピューターなどを使うのは無理か。

（事務局） 新しく国交省が内側と外側の水位の差を瞬時に表示するデジタルの水位計をつけられました。電話により水位を確認することができます。

（委　員） 深夜など防災無線も聞いていなくて、気づくのが遅くなった場合が怖いと思う。

（事務局） 大井出川に水位計や量水標をつけますので、カメラや目視で一番低いところを基準に避難準備、避難勧告等のルール作りを進めたいと思います。また、水門の操作状況も部落長を通して情報提供していきたいと思っています。

1. **その他**

**・地域づくり懇談会について**

（九鬼副支所長　資料5により説明）

（委　員） 今説明のあった地域づくり懇談会で西郷地区は三滝の今後の在り方について話し合う事にしている。これまで三滝についてはむらづくり協議会で地域の課題として話し合い、昨年12月に西郷を語る会でワークショップを行った。その後、三滝守り隊という自主組織で週1回、管理棟やバンガローの掃除と管理を行っているが水が出ません。地域としては指定管理を見据えて考えているが、条件整備が整っていないことに戸惑っている。

（事務局） 昨日、昨年掘った所とは別のところで水が出ることが確認されました。水質検査をした上で地元の方に経過をお伝えする予定です。今年度は管理棟の維持管理等を含めた管理、来年度は指定管理にとの提案を考えていましたが、水が出ない事は管理が出来ないという事になるため今後の方向性については早めに提示させていただきたいと考えています。ただ今年度の地域づくり懇談会には間に合わない可能性があります。

（委　員） 30年度の変更点で地区側の出席者が代表者、関係者となっているのは、今まで人が多くて何か問題が起きたということか。

（事務局） そういう訳ではないです。

（委　員） 代表者と関係者となると他の人は来なくていいというような感じになると思う。

（事務局） そういう意見もありましたが、その辺りは地域に任せます。ある地区では毎年同じ方が話されるとか、地区要望の話になる事が多いとのことで、そこを切り離し、テーマに沿った意見交換を行うという事です。

**・視察について**

（九鬼副支所長　資料6により説明）